

## 出エジ 37 出エジプト記 25 章 10 節～30 節

### 「契約の箱、贖いの蓋、供えのパンの机」

#### 1. 文脈の確認

- (1) 創3章以降、シャカイナグローリーは現れたり、消えたりした。
- (2) 出エジプトの目的は、民の中にシャカイナグローリーが宿ることにある。
  - ①モーセの律法は、神の民に生きるための指針（理念）を与えた。
  - ②幕屋は、神の民に礼拝の方法を教えた。
    - \*神に近づくための方法を教えた。
    - \*父の愛が啓示された。
  - ③天にある幕屋の型通りに作らねばならない。
- (3) 幕屋は、神の計画がすべて成就する前の一時的な仕組みである。
  - ①人が永遠の世界でシャカイナグローリーとともに住むことがゴールである。
- (4) 幕屋のための奉納物が捧げられた。
- (5) いよいよ、具体的な指示に入っていく。
  - ①幕屋の全体像を確認しておこう（図を参照）。
  - ②具体的な指示は、重要な部分から始まり、外側に広がっていく。
    - \*契約の箱から始まり、幕屋の庭で終わる（27：9～19）。
    - \*香をたく壇（30：1～10）と洗盤（30：17～21）は除外されている。
    - \*祭司に関する命令と関連して出てくる。

#### 2. きょうのアウトライン

- (1) 契約の箱（10～16 節）
- (2) 贖いのふた（17～22 節）
- (3) 供えのパンの机（23～30 節）

#### 3. メッセージのゴール（なぜ私たちが、幕屋について学ぶ必要があるのか）

- (1) 契約の箱とキリスト
- (2) 贖いのふたとキリスト
- (3) 供えのパンの机とキリスト

このメッセージは、幕屋の中に隠されたキリストを発見するためのものである。

## I. 契約の箱（10～16節）

### 1. 幕屋の中で最も重要なもの

(1) 「アカシヤ材の箱」とは、「契約の箱」のことである。

### 2. その形状

(1) サイズ

①1 キュビトを約44cmとすると、箱の大きさは、110cm×66cm×66cmとなる。

(2) この箱の内側と外側に純金をかぶせる。

①持ち運びができるように、4つの金の環を箱の四隅に取り付ける。

②棒は、箱の環に通したままにしておく。

③誤って人が触れないように。

④2サム6：6～7で悲劇が起こっている。

### 3. 中に入れるもの

(1) 「わたしが与えるさとしをその箱に納める」（16節）

①十戒を書いた石の板2枚

②「あかしの板」（口語訳）

③「掟の板」（新共同訳）

(2) 偶像の宮との対比

①一番奥には、偶像が安置されている。

②幕屋の場合、一番奥には「契約条項」が安置されている。

③神の愛と義（契約に基づく）を信頼する人だけが、神に近づくことができる。

(2) それ以外のもの

①マナを入れた壺

②芽を出したアロンの杖

### 4. その意義

- (1) その上にシャカイナグローリーが輝いた。
  - ①神がこの箱に入られたのではない。神を持ち運んだのではない。
- (2) この箱は至聖所に置かれた。
  - ①そこには、大祭司が年に1度だけ入ることができた。
  - ②大祭司は、神の栄光の光に照らされて務めを遂行することができた。

## II. 贖いのふた (17~22節)

1. 契約の箱の上に載せるふたである。
  - ①「贖いの座」(新共同訳)
  - ②「the mercy seat」(英語訳)
2. その形状
  - (1) 大きさは、契約の箱のサイズと同じ。
  - (2) 材質はすべて純金。
  - (3) 2つの金のケルビムを両端に作る。
    - ①天使の最高位のものがケルビム(単数形はケルブ)である。翼が2つ。
    - ②次がセラフィム(単数形セラフ)である。翼が6つ。
    - ③最下位にいるのが一般の天使である。翼はない。
    - ④互いに向かい合い、翼を上の方に伸べ広げ、贖いのふたを覆うようにする。
3. 3つの役割
  - (1) 神の御座としての役割
    - ①最高位の天使であるケルビムが置かれた。
    - ②シャカイナグローリーは、ケルビムとの関連でのみ語られている。
      - \* 「ケルビムの上に座す【主】」という表現が、たびたび出てくる。
      - \* 1サム4:4、2サム6:2、2列19:15
      - \* 詩80:1 「ケルビムの上の御座に着いておられる方よ」
  - (2) 贖いの場としての役割
    - ①「贖いのふた」は、ヘブル語では「カッポーレス」である。

\*この語には「覆う」または「隠す」という意味がある。

\*「罪をおおう」、「罪を隠す」という意味でも用いられる。

②ヘブ9：5では、「ヒラステーリオン」（ギリシア語）と呼ばれている。

\*「贖罪所」（口語訳）

\*「贖罪蓋」（新改訳）

\*「償いの座」（新共同訳）

③大祭司が年に1度、いけにえの血を振りかける場所である（レビ16：11～17）。

\*贖罪の日

\*やぎの血

(3) 啓示の場としての役割

「わたしはそこであなたと会見し、その『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の二つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをことごとくあなたに語ろう」（22節）

①神は、そこでモーセに啓示を与えと言われる。

### III. 机（23～30節）

#### 1. パンを置く机

(1) 形状

①この机も、アカシヤ材で表面に純金をかぶせたもの。

②持ち運びができるように、金の環とかが棒も作られた。

③サイズは、契約の箱よりも少し小さめ（88cm×44cm×66cm）。

(2) 機能

①この机は、至聖所の中ではなく、聖所に置かれた。

②机の上には絶えず「供えのパン」が置かれた。

#### 2. 供えのパン

(1)「神の前に供えたパン」という意味である。

\*出25：30、35：13、39：36

\*民4：7

\*1サム21：6

\*1列7：48

\*2 歴4:19

- (2) パン種のはいらぬ丸くて薄いパン 12 個
  - ①6 個ずつ二並びにして置かれた。
  - ②各並びに乳香も添えて置かれた。(レビ記 24:5~7)。
  - ③これは、パンの代わりに燃やして【主】に捧げた。
  
- (3) パンの数は、イスラエルの 12 部族を表わしている。
  - ①イスラエル人は常に、自分たちが神の前を歩んでいることを自覚させられた。
  - ②このパンは、週 1 回、安息日ごとに新しく供えられた (レビ 24:8)。
  - ③この奉仕に当たったのは、ケハテ族である (1 歴 9:32)。
  
- (4) 供えられたパンは聖別された物である。
  - ①祭司だけが食べることを許された。
  - ②しかし、ダビデとその供の者はこれを食した (1 サム 21:4~6)。
  - ③イエスはこれを引用して、安息日は人のためであるとされた (マタ 12:3~4)。

結論：このメッセージは、幕屋の中に隠されたキリストを発見するためのものである。

## 1. 契約の箱とキリスト

(1) 新約聖書から証明できることだけを、キリストを示す型として理解する。

①「聖書は聖書によって解釈する」という原則

(2) ヨハ 1:14 からの証明

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた」

①「住まわれた」という言葉は、「スケイネイ」というギリシア語である。

②この言葉には、「幕屋を張る」という意味がある。「シャカイナ」の派生語である。

③旧約時代には、神は幕屋の中に栄光を表わされた。

④新約時代には、神はイエス・キリストのうちに栄光を表わされた。

\*メシアの受肉は、神が地上に幕屋を張られたことを意味する。

\*イエスの御体は、幕屋であり神殿である。

\*イエス自身が、シャカイナグローリーである (目に見えない神の現れ)。

(3) ヨハ2:18~21からの証明

「そこで、ユダヤ人たちが答えて言った。『あなたがこのようなことをするからには、どんなしるしを私たちにを見せてくれるのですか』。イエスは彼らに答えて言われた。『この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう』。そこで、ユダヤ人たちは言った。『この神殿は建てるのに四十六年かかりました。あなたはそれを、三日で建てるのですか』。しかし、イエスはご自分のからだの神殿のことを言われたのである」

①イスラエルの民は、幕屋の中のシャカイナグローリーを見て、神がともにいてくださることを確認した。

②私たちは、イエスの中にシャカイナグローリーが宿っているのを見て、神がともにいてくださることを確認する。

2. 贖いのふたとキリスト

(1) ヘブ9:1~14からの証明

①「贖いのふた」は、キリストの贖いを示す型である。

②ふたの上にやぎの血が振りかけられ、罪に対する神の怒りが静められた。

③これは、イエスが十字架上で、私たちの罪のために死なれたことを示す型である。

④キリストの犠牲的死は、一度限りのもので、その効果は永遠に続く。

(2) 1ヨハ2:1~2からの証明

「私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯すことがあれば、私たちには、御父の前で弁護する方がいます。義なるイエス・キリストです。この方こそ、私たちの罪のための——私たちの罪だけでなく、世全体のための——なだめの供え物です」

①私たちの罪は、キリストの死によって完全に贖われた。

②新生体験をした者は、習慣的に罪を犯さなくなった。

③もし罪を犯したなら、それを告白することによって赦しをいただくことができる。

\* 1ヨハ1:9

3. 供えのパンの机とキリスト

(1) ヨハ6:35、48、51からの証明

①イエスは、ヨハネの福音書で3度、「わたしがいのちのパンです」と語られた。

②パンという言葉は、ユダヤ人にとっては非常に霊的な意味を含んだものである。

\* 種入れぬパン

\* 天からのパンであるマナ

\* 供えのパン

- ③ 神は荒野でイスラエルの民を養われた。
- ④ 新約時代においては、主イエスが私たちの霊の糧となったださる。
- ⑤ 「いのちのパン」は、毎日食べる必要がある。